

訪問リハビリ事例紹介 ～嚥下リハビリ+訪問栄養指導～

新潟南病院 訪問リハビリでの一例



Bさん

- ・パーキンソン病
- ・嚥下機能の低下をきっかけにケアマネージャより相談があり、ST 介入開始
- ・食事条件：ミキサー食、とろみ付き水分（ヨーグルト状）、自力摂取

姿勢が崩れやすく
疲れてしまう

食事が飲み込みにくい

やりたいことはあるけれど、
気力が湧かない



目標

花見に行きたい

そばを食べに行きたい

嚥下リハビリでの取り組み

安楽に摂取できるよう
姿勢調整・自助具の提案

嚥下機能に合った食事形態・
食事方法の指導

嚥下機能維持向上
訓練の実施・自主
トレーニング指導

訪問栄養指導での取り組み

栄養評価

調理方法指導

栄養補助食品の紹介



訪問リハ介入後

●評価結果

	初回評価	3ヶ月後
AMSD (口腔構音機能)	2.8/3点	2.9/3点 (交互反復運動課題で向上あり)
摂食嚥下グレード	II-6	II-6
簡易栄養状態評価	21.5/30点	25.0/30点 (非利き上腕・ふくらはぎ周囲長、水分摂取量で向上あり)
体重	48.7 kg	48.9 kg
握力	左 23.5kg 右 25kg	左 24kg 右 27kg
E-SAS (生活の広がり)	32/50点	33/50点 (外出頻度の増加)



- ・足りない栄養を高カロリー食品で補えるようになった。
- ・姿勢が安定して疲れにくくなった。
- ・ハンドミキサーを外食先に持ち込み、その場でミキサーにかけることで好きな蕎麦の風味を楽しむことができた。
- ・気力が湧き、家族と花見など短距離のドライブに行く頻度が増加した。



新潟南病院 訪問リハビリテーション

*お気軽にご相談下さい。

〒950-8601 新潟市中央区烏屋野 2007 番地 6

電話：025-284-2511 FAX：025-284-2080



facebook

SNS でも情報配信を行っています!

Instagram



MINAMIHONREHA